



2024年 目標は〇〇

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。と、新年の挨拶も冷めないうちに、日本から大変なニュースが飛び込んでまいりました。能登半島地震で亡くなられた方にお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。改めて、日本は自然災害の多い国だということを思い知らされ、そのための日頃からの準備の大切さを再確認いたしました。やはり、12月の「希望」にも書いたように、準備しておくことは本当に大切だと思います。これは、自然災害に限った備えだけではなく、何に対しても言えることでしょう。

さて、3学期の始業式に「新年を迎え、新しい目標を決めた人」という問いを投げ掛けました。すると、約3分の2の子供たちが「新しい目標を決めた」と手を挙げてくれました。非常に頼もしく感じました。今は遠くに見える目標でも、スモールステップで一步一步進んでいけば、必ずその目標にたどり着くはず。たどり着かないとしても、間違いなく目標に近づいているはず。目標がなければ、どの方向に進んで行っているのか分かりません。まだ、目標を決めていないという人は、ぜひ目標を決めてください。大きな目標でも小さな目標でもかまいません。2024年、まず自分の進むべき方向を定めてほしいと思います。(文責：校長)

教員研修 ～現地小学校への訪問～

研修部主任

在外教育施設は、教職員の研修の場が国内に比べて少なくなりがちです。そのため、本校では、教員が主体となり、日々の授業改善や資質向上のための研修を自主的に行っています。教員同士で行う実践交流会や補習校との合同研修会（本年度は、全日校小学部5年生での研究授業）、現地校訪問などです。

今回は、昨年10月30日（月）に訪問したクレマーアッカー小学校での小1の芸術科目（TTG）の様子を紹介します。

芸術の授業では、20人の生徒を更に半分に分け、10人で授業を実施していました。この時の授業内容は、紙の筒に約50本のくぎを打つというものでした。

日本と違う点は、教材と教具が充実していたことです。紙の筒や金づちはもちろん、鉛筆や消しゴム・はさみ・のりなど、必要な物全てが学校で用意されています。整頓が行き届いているところも見習いたいと感じました。また、指示された課題を熱心に練習し、技術の習得を目指している姿も印象に残りました。様々な作業を丹念に行うスイス人をよく見掛けますが、そういう姿勢も学校教育で培われているのかと、考えさせられました。

「よい教育」とは、国によっても教員一人一人によっても、捉え方に違いが生じるものです。様々な国の教育事情を知り、日本の教育を見つめ直すことは、急激に変化する教育現場を生きる我々教員にとって非常に大切なことだと考えます。日本の教育の常識に捉われず、良い面を取り入れたり試したりしながら、これからの日々の子供たちへの教育に生かしたいと思います。



↑ 指定の場所に正確にくぎを打つ活動



↑ 整頓された教具

2024年スタート！3学期もがんばるぞ

小学が1年

3がっきは、むずかしいかん字をたくさんおぼえたいです。
おそうじのとき、ちりとりでたくさんゴミをとります。



小学部4年

3学期にぼくががんばりたいことは英語です。理由は、父から「英語が話せるとしょうらいなれるものが多くなる。」と聞いたからです。

去年から将来の夢について考えることが増えました。今年は、さらに英語ができるようになり、しょうらいのことをもっと考える2024年にしたいです。

小学部5年

わたしは、算数と国語と図工と体育をがんばります。
わたしは、体育が一番好きです。体を動かすことが好きだからです。
3学期の体育では、みんなとドッジボールとバスケットボールとおにごっこをしたいです。
みんなといっしょに体を動かして、早くなかよくなりたいたいです。



小学部6年

ぼくは、3学期が終わると、中学生になります。3学期は、小学生の最後として、思い残すことがないようにしたいです。

学習面では、話をしっかり聞きます。生活面では、下級生のお手本になるようにだれとでも仲良くします。

3学期も元気で楽しく過ごしていきたいです。

中学部2年

3学期に頑張りたいことは二つあります。

一つ目はサッカーの練習や、学習を毎日計画通りに続けることです。何かを改善するためには、毎日やる必要があります。サッカーも勉強も、苦手なことをできるようにするために毎日少しずつ頑張りたいです。

二つ目は、基本的なドイツ語を学ぶことです。サッカーでチームメイトとコミュニケーションを取ったり、スイスについてもっと知ったりするために学びたいです。

この二つを頑張っていきます。

